

京都の大学へ進学を
検討中の高校生へ

次世代下宿「京都ソリデール」事業のご案内

高齢者宅の空き室に低廉な負担で同居・交流する次世代下宿してみませんか？

家族じゃないけど同居して
「ただいまあ〜」「おかえりい♪」
「今日なにしたん?」「あんなあ...」
懐かしくて新しい住まい方をご提案



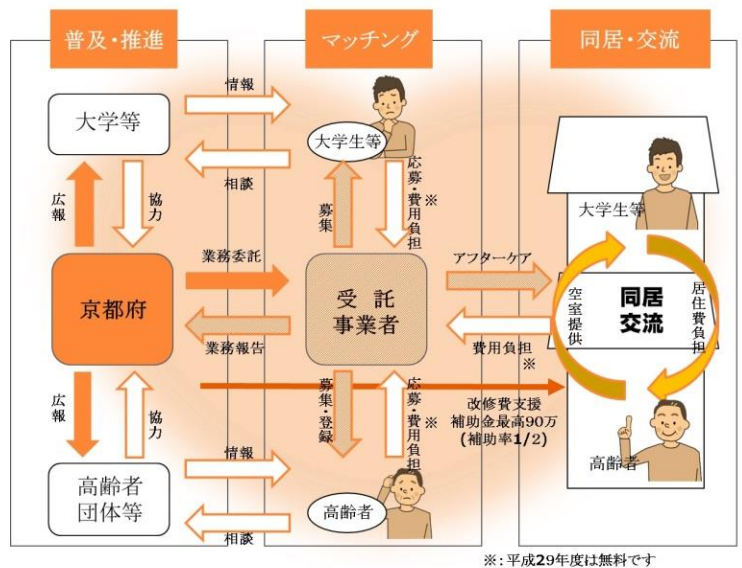
 京都府

次世代下宿「京都ソリデール」事業とは

※ソリデール：フランス語で「連帯の」という意味

高齢者が自宅の空き室を、大学生等へ低廉な居住費負担(家賃等)で提供し、同居・交流する懐かしくて新しい住まい方です。(京都府では平成28年度からスタートしました。)

- 以前は京都でも多く見られた「下宿」のように、朝夕のあいさつや、リビングでともに時間を過ごしたり、共通の趣味を楽しんだり、地蔵盆など地域のイベントと一緒に参加したり、大学生と高齢者や地域との交流を大切にしたい住まい方です。
- 「下宿」との違いは、双方の合意までに交流会や訪問などを実施すること(お試し同居をすることも)、同居のルールを決めること(変更も可)、高齢者が収益を目的としていないこと、食事の提供は無くても良い(提供も可)などです。
- この住まい方は、お互いを知ることが大事です。まずは、高齢者との交流会や高齢者宅を訪問して、楽しくお茶やおしゃべりをしてみませんか。



※：平成29年度は無料です

同居・交流中の方に、住まい方についてうかがいました。

※京都府では平成29年4月現在、4組の高齢者と大学生が本事業での同居・交流を行っています。

Q マッチングの経過は？

Ⓢ 高齢者宅の交流イベント(歌声喫茶)の参加から始まって、個別訪問、10日間のお試し同居、条件などの相談、最後は家族も高齢者宅で面会して同居合意しました。

Q 同居を決めたポイントは？

Ⓢ 高齢者の人柄に触れ、さらに、経歴が自分の専門分野に近く魅力に感じました。

Q 同居してみてもいかがですか？

Ⓢ 奈良の実家から大学まで往復3時間を費やしていましたが、ゆっくり朝ご飯が食べられるようになり、学外活動の時間も充実しました。



Ⓢ 高齢者(夫婦)
京都市北区在住(70代)
Ⓢ 大学生(男性)
奈良県出身(大学2年生)

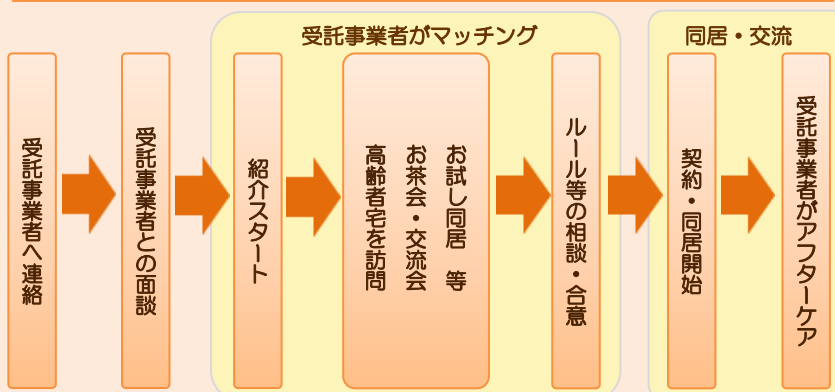
Q 高齢者との交流はいかがですか？

Ⓢ 最初の頃は家事の手伝いも受け身でしたが、だんだん雰囲気が分かってきて進んで動けるようになりました。

Q 大学生との同居・交流はいかがですか？

Ⓢ 何か特別なことをするのではなく、普段のついでが学生の手助けになってうれしい。自宅で開催している高齢者のふれあい活動(健康麻雀教室や歌声喫茶など)に関わってもらったり、高いところの調理器具を取ってもらったりありがたい。若い人が家にいるのが楽しいので、できれば大学生をもう一人受け入れてもいいくらいです。

手続き等の流れ(例)



- 同居・交流の参考に(国内事例より)
- ・生活リズムが異なることを前提にルールを
- ・お互いに異なる価値観を理解し受容する
- ・政治と宗教の話はしないルールに
- ・スケジュールはメモで共有しています
- ・大学生の親御さんや高齢者のお子さんの理解も重要です
- ・トラブルのほとんどは二人で解決
- ・アフターケアで未然に防げる場合も
- ・一人暮らしより自由度は減るが、得られるものの方が多い
- ・夜9時くらいまで一緒にTVを見ることも
- ・時間が合えば一緒に出かけることも
- ・同居が終わった後も交流は続いています

気軽にお問い合わせください

受託事業者 (事務所所在)	addSPICE[アット・スパイ] (左京区)	TEL 050-5273-1486
	(株)応用芸術研究所(上京区)	TEL 050-1276-1376
	京都高齢者生協らしこーブ(北区)	TEL 075-432-3636
	NPO 法人フリーダム(中京区)	TEL 075-241-0110

発行 京都府建設交通部住宅課

住所 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入

電話 075-414-5358

E-mail jutaku@pref.kyoto.lg.jp

URL <http://www.pref.kyoto.jp/jutaku/>

